

共生・公正・創造



# ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合  
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号  
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290  
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治



## “テロリストに乗っ取られた”JR東日本の真実”

### 「マングローブ」ダイジェスト版 第10回

あの「週刊現代」連載記事が【マングローブ】という本になった。本紙は筆者（西岡研介氏）の了解を得て、『謎に包まれた非合法集団とJR東日本の抜き差しならぬ関係』をダイジェスト版として紹介することとした。

## 社長人事にまで口出しする

公安当局は今も松崎を革マル派最高幹部とみている。これについて嶋田氏はこう証言する。  
「少なくとも私が現役時代、松崎と革マル派との関係はあったと思います。彼はなにかにつけ『革マル派』に優しかったですから。もちろん私自身も一時期、『革マル派』といわれたこともあります。しかし、それは違います。私は現役時代に『革マル派』を批判するような文章を書いていたほどですから。ただ、その文章は松崎にきわめて不評でした」

ハワイのコナ市、沖縄の今帰仁村や宮古島、そして群馬県嬬恋村…。松崎自身や鉄福が所有しているこれらの別荘についても、嶋田氏（当時、鉄福の副理事長）はこう証言した。

「これらの別荘の中で、私が行ったことがあるのは嬬恋の別荘だけ。ハワイのコナ市はもちろんのこと、沖縄の別荘も、存在すら知りませんでした。松崎が組合のおカネを好き勝手に使っていたのはもちろんですが、私は松崎の金庫番である佐藤正雄も、私的運用していたのではないかと推測しています。だから03年9月、警視庁に家宅捜索に入られた際、佐藤は失踪したのではないのでしょうか」

そして、「もし、松崎が逮捕されたら？」との質問を受けた嶋田氏はこう語った。

「もし、松崎が逮捕されたら？ 公式コメントとしては『偉大な指導者がこんな事態になりきわめて残念だ』などと言うのが、ふさわしいのでしょうか。しかし、『悪いことをしたなら捕まるのは仕方がない』というのが本音です。組合員が一生懸命積み立てたカネを勝手に使っていることが事実であるのなら、れっきとした犯罪なのですから。東労組やJR総連はいまだに（警視庁公安部の一連の捜査を）『小泉純一郎やブッシュを批判する松崎に対する政治的弾圧だ』などと言っていますが、もうそんな『松崎神話』とはオサラバしたほうがいい。…松崎を『神格化』し、組織の私物化を許した最大の責任は、当然ながら、われわれ東労組にあります。と同時に、一労働組合の幹部にすぎなかった男の権力をここまで肥大化させた原因は、JR東日本経営陣にもあるのです。JR東日本経営陣は国鉄時代のトラウマや、JR発足後の労政の失敗などで、完全に松崎に敗北。人事への介入まで許してしまった。私の知る限りでも、松崎は社長の人事にまで介入しようとしていました。大塚氏は2000年6月に社長に就任するのですが、以前から大塚氏を嫌っていた松崎は、その直前まで、当時の社長だった松田氏に『大塚を社長にするな』と迫っていたのです。もっともそのときの松崎の画策は功を奏しませんでした。松崎という『妖怪』はいわばJR東日本、東労組が“労使協調”で作りだしたものののです」

かつての側近や腹心たちに次々と反旗を翻され、その“罪状”が明るみに出るJRの妖怪、松崎明。それでもまだ、なぜJR東日本経営陣は、この妖怪を守ろうとするのだろうか？

【マングローブ（講談社）P.129～P.131】